

今週のメニュー

■トピックス

- ◇（一社）日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）と共催で講習会を開催
－暑い夏の最適リフォーム提案は遮熱対策と通風活用で決まり！－

■随想

- ◇2002年 レバノン旅行記（4）－移動手段－

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

■編集後記

■トピックス

- ◇（一社）日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）と共催で講習会を開催
－暑い夏の最適リフォーム提案は遮熱対策と通風活用で決まり！－

塩ビ工業・環境協会では、これまでシンポジウム、各種セミナーを通じて、これからの建築物がどのように変わるべきか？を様々な形で提案、樹脂窓の有用性をPRして参りました。今回新たな試みとして、日頃リフォーム事業に関わっている企業、工務店様に向けて、（一社）日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）※と共同で講習会を開催、リフォーム分野でも樹脂窓が有用であることをPRして、更なる普及・促進に取り組んで参ります。

※（一社）日本住宅リフォーム産業協会（JERCO）：

1983年10月、日本ではじめての、そして現在では国内最大の「リフォーム関連企業」の全国組織で、北海道から沖縄まで全国8つの支部に約470社が加盟しています。安心・安全なリフォーム事業主体の住宅事業者団体として、生活者と快適な住環境を創造します。地域に根ざし、JERCO会員が信頼のリフォームで応えています。

第一回として、7月13日(木) 品川インターシティにおいて、「暑い夏の最適リフォーム提案は遮熱対策と通風活用で決まり！」をテーマで講習会を開催、定員以上の50名に参加をいただき、盛況のうちに終了致しました。

東日本大震災以降、エネルギー消費削減の取り組みが加速、特に省エネが遅れている家庭部門のエネルギー削減の取り組みが加速しています。建物の省エネ基準も見直され、住宅の断熱性能が向上している一方、夏季の日射熱をどう抑制するかが重要な課題になって来ています。今回、暑い夏の最適リフォームとして、遮熱対策をテーマに、講師として第1部でYKKAP(株) 開発本部 宮川室長から「風と熱を制する者はリフォームを制す!」、(株)ニチベイ 商品開発本部 佐久間次長から「ブラインドと遮熱（断熱）」、第2部として鹿児島大学 工学部建築学科 二宮教授から「夏の暑さ対策、遮熱の考え方」を演題に講演がありました。

YKKAP(株)、(株)ニチベイからは遮熱の重要性を、データを元に紹介いただき、それぞれの会社が持っている商品がどれだけ貢献出来るかを説明していただきました。

鹿児島大学 工学部建築学科 二宮教授からは、遮熱の方法で最も有効なのは窓の外で日射をカットすることで、日射取得型と日射遮蔽型の窓を、設置する方位を考えて選定すること及び、省エネルギー基準では評価されていないが、カーテンやスクリーン、内付けブラインドなどの付属物を上手に活用することが重要だとの話がありました。

最後になりましたが、講師の皆様、ご来場いただいた皆様、そして今回より講習会の共同開催に協力いただいた(一社)日本住宅リフォーム産業協会様に厚くお礼申し上げますとともに、今後も予定している各種テーマの講習会を通じて日頃リフォーム事業に関わっている企業、工務店様がリフォームを必要としている消費者により良い提案をいただければ幸いです。



講習会の様子

■ 随想

◇2002年 レバノン旅行記(4) —移動手段—

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

現在、レバノンに鉄道はありません。内戦前には全国を結ぶ鉄道網、首都のベイルートには路面電車もあったのですが、破壊し尽くされ、そのまま捨てられてしまいました。このため、国民の足は自家用車が主流。レバノンの面積は岐阜県とほぼ同じくらいですから、どこへ行くにも車で十分。そのかわり、レバノン全土で交通渋滞と駐車場不足が深刻です。大気汚染も深刻ですが、昨日(2002年9月14日)から、大型トラックと大型バスを除き、レバノン全土でディーゼルエンジンの使用が禁止されました。

自家用車を持たない人の移動手段は

- ・ バス(国営・民営)
- ・ 乗り合いタクシー
- ・ 普通のタクシー

です。

特に国営バスは安く、レバノンの端から端まで走って(といっても4時間くらいですが)200円位。民営バスはもう少し高く、500円位。エアコン付なら700円位。乗り合いタクシーは国営バスと民営バスの間400円位です。普通のタクシー料金は長距離を乗ったことはありませんので分かりません。

ちなみに、さすがに国営バスは道路交通法をそれなりに守って走るようですが、民営バスやタクシーは関係ありません。

目的地までお急ぎの方は、比較的車が新しく、若くて気合の入っているドライバーの車を選びましょう。信じられないくらいの短時間で、目的地まで着くことができます。但し、心臓の弱い方や乗り物酔いをする方はご遠慮下さい。

レバノンでは中近東に位置しているとはいえ、地中海に面した典型的な地中海性気候なので非常に温暖。気温は東京とほとんど変わりません。

四季もはっきりしており、冬には山岳部でスキーも楽しめます。

ただ、日本と異なり湿度は非常に低いです。

このため、体内の水分が知らないうちに失われて行きます。

水分をいかに適切に補給するかが大切です。

水道の水は衛生的には問題なく飲むことができますが、不味い！

どうやったらこんなに不味くなるのかと思うほど不味いです！

ミネラルウォーターは5リッター120円位で売っているの、ほとんどの人がミネラルウォーターを利用しています。

持ち運びに便利な、もっと小さなペットボトルに入ったミネラルウォーターも売っていますが、割高なのでレバノンの人は5リッターのボトルを買い、それを小さなボトルに移して持ち歩いている人が多いようです。

それでも、町中、捨てられたペットボトルだらけ。

国で雇われた清掃係の人が（失業対策も兼ねているとか）毎日、捨てられたペットボトルを回収して歩いているにも拘らず、あれだけのボトルが目につくのですから、毎日捨てられるペットボトルの量がどの位になるのか、想像も付きません。

(つづく)

次回は、(5) ー環境警察？ーです。

⇒ [バックナンバー](#)

■ 編集後記

梅雨が明けて、本格的な暑さの真っ盛りです。熱中症に注意して、仕事や遊びをしたいものです。(kamiki)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)、[メールマガジン解除](#)



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <http://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp